

編集 発行
 和歌山県北山村議会
 TEL 0735-49-2331
 FAX 0735-49-2207



北山村 議会だより



11月4日に新じゃばら加工場の落成式が行われました。

令和5年9月定例会・第2回臨時議会が開催されました

令和4年度決算認定・令和5年度補正予算
 ・条例改正案等を審議／可決 P 2

予算について議員が問う！ 全協・委員会での質疑内容 P 3

議員が村政を問う！ 一般質問 P 4～P 6

北山三村の議員が池原ダムを視察 第2回臨時議会 P 7

議会日誌 議員のひとりごと P 8

令和5年9月定例会 ～令和5年度補正予算

条例改正等を審議・可決、一般質問等を行いました。～

本定例会は、9月20日、22日（会期3日間）で開催されました。20日の開会日は、諸般の報告として、山口村長から行政報告並びに提案理由の説明が行われ、その後、議案の審議を行い、令和4年度決算認定、条例改正の議案、令和5年度補正予算などが審議されました。

令和4年度決算認定の審査には、葛城健也代表監査委員から決算審査意見書が報告され、一般会計、特別会計のすべての決算が認定されました。

2日目の22日は一般質問が行われ、山口廣一郎議員、前岡武津雄議員、藪本英明議員が村行財政について質問を行い、活発な議論が行われました。

●議決された条例・予算等の議案は以下のとおりです。

- 認定第1号 令和4年度北山村一般会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第2号 令和4年度北山村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第3号 令和4年度北山村介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第4号 令和4年度北山村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第5号 令和4年度北山村簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第6号 令和4年度北山村国民健康保険直営診療所特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第7号 令和4年度北山村地域振興事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 報告第2号 健全化判断比率及び資金不足比率の報告について
- 議案第41号 辺地に係る総合整備計画の変更について
- 議案第42号 令和5年度北山村一般会計補正予算（第4号）について
- 議案第43号 令和5年度北山村介護保険特別会計補正予算（第2号）について
- 議案第44号 令和5年度北山村簡易水道事業会計補正予算（第1号）について
- 同意案第3号 北山村教育委員会委員の任命について

本定例会で可決された補正予算の中で主な事業を紹介します。

- じゃばら加工施設竣工式関連費用（2,766千円）・・・11月4日（土）開催の竣工式等の費用です。村民向けの内覧会は11月6日（月）に開催されました。
- おくとろ温泉外壁塗装工事（41,010千円）
- ふれあいプラザ改修工事（27,786千円）・・・老朽化した各施設の維持補修費です。
- 下尾井プール改修工事（11,825千円） 改修にお金がかかりますが、きれいな施設になりますので、皆さん積極的に利用しましょう。

同意案として上程された人事案件については、任期満了に伴う北山村教育委員会委員の選任案が上程され、全会一致で同意されました。

教育委員には、退任される下平めぐみさんの後任に、大沼の中岸さやかさんが新たに任命されました。下平めぐみさんには長い間、教育委員として務めていただきご苦労さまでした。

条例・予算について議員が問う！
全員協議会・委員会での主な質疑内容

【質問】 筏下りの安全性は確保されているが、オトノリの筏乗場、小松の筏の降り場にある手すりは大丈夫か。

【回答】 点検して整備していません。一部、手すりの元の方が腐食していますので補修方法を検討しています。

【質問】 10月からふるさと納税の返礼品や事務委託についての規則が変更されるが、村にどのような影響があるか。

【回答】 他県で作っていたドリツプコーヒーなど返礼品として扱えなくなりしますので、寄付額の減少が考えられます。

返礼品を発送する際の費用等を含んだ総額を5割以内にしなるといけなくなるので、返礼率が下がることとなります。

【質問】 村営住宅の樹木でカイブキが伸びすぎて、屋根に覆いかぶさってきている。電線にもかかってきて危険で枯葉が屋根や道路に溜まっている状況なので伐採してはどうか。

【回答】 これまで入居者による手入れをお願いしてきましたが、



修繕が予定されているふれあいプラザとプール

個人ではできない状況です。12月補正で伐採に係る予算を計上して、年明けに伐採します。伐採後のフェンスの設置については今後検討いたします。

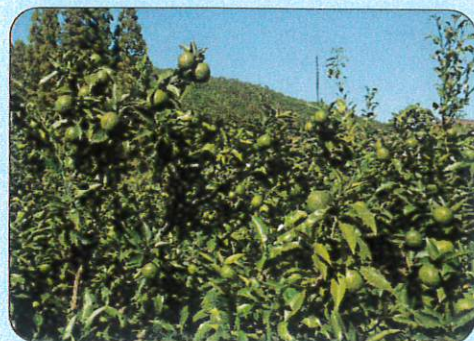
【質問】 下尾井のふれあいプラザとプールが老朽化により改修することになっているが、改修内容はどのようなものか。

【回答】 ふれあいプラザは、雨漏り修繕と内外装の改修、プールは貯水槽の塗装と排水を暗渠から開渠に改良します。

新しいじゃばら加工場ができてどう変わるの？

全員協議会で、じゃばらいず北山の池上輝幸代表取締役から次のとおり説明がありました。

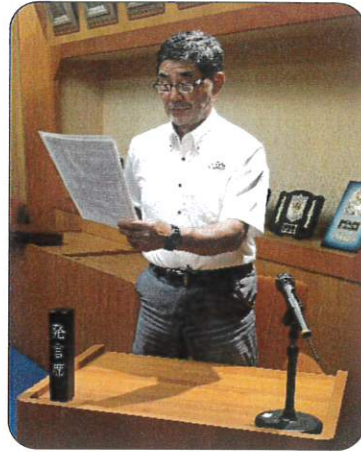
- これまでの工場ではビン製品のみ製造していたが、ペットボトル、缶の製品も製造が可能になります。このことで年間稼働日数が110日から220日以上になります。
- 周辺に缶製品が製造できる工場がないので、今後は他の会社の製品を製造することにも力を入れて、工場の稼働率を上げていきます。
- 山村活性化交付金を活用して専門家を招き、じゃばらの新商品開発やPRを行います。これまで果皮は4割しか使っていませんでしたが、これにより、果皮の使用率を上げることに取り組みます。
- 食品の安全性を確保するためHACCPの取得に取り組んでいましたが、衛生管理が向上するので、JFS-Bという上位資格の認定を受けることを目指します。
- じゃばら加工場が衛生管理面で向上することで、大手の食品メーカーとの取引もできるので、じゃばらの知名度向上などにも期待しています



一般質問

○災害への備えは万全か！？ ○心と体のケアは！？

山口 廣一郎



していただいています。

(中森総務・住民福祉担当参事)

【質問】お盆に襲来した台風7号では、道路工事中の相須・竹原間で倒木があり、停電が起こった。これから先も同じ箇所や村内全域で倒木や落石が心配される。事前に対策をとる必要があると思うが。

【答弁】村内のほとんどの箇所が急傾斜地域に指定されており、急傾斜事業については、各区の陳情も踏まえ県に要望して順次実施して頂いています。

倒木については「里山森林環境整備事業」により各区からの申請により順次実施されています。

国道等についても必要箇所については、村の要望も含め県の事業で落石防護柵等の設置を順次実施

【質問】①台風7号による停電で2日間電気がこない地区があり、避難所で過ごした人もいた。家にいる高齢者は暑さと不安で精神的、体力的にきつく、電話や訪問による健康相談や心のケアなどが必要では。

②避難所においてはダンボールベッド、毛布があるものの、体の休まる折り畳み簡易ベッドを常備してはどうか。

③これから多発する災害、停電を考えたとき、高齢者でも簡単に持ち運びができるポータブル電源が各家庭に必要で、無料配布は無理でも補助金を考えては。

【答弁】①今回の対応としては、避難所として村民会館の利用を案内しましたが、今後、長期間の停電等により高齢者の健康に不安がある場合は、安全を最優先に考え、電話等による安否確認等を行います。

②訪問が必要な場合は、民生委員や各地区役員の協力を得ながら考えていきます。

(川邊住民福祉課長)



台風7号による倒木

②現在、農協からの寄贈による折り畳みの簡易ベッド8台、ダンボールベッドが10台備蓄しています。簡易ベッドは枠がアルミ製で固く、毛布とダンボールベッドを併用するのが体に優しいと思います。

(中森総務・住民福祉担当参事)

③平成23年の台風12号の時には、1週間程度停電しましたが、それ以降は長期の停電が起こっていません。長期停電で一番困るのは、真夏の冷房と冷蔵・冷凍食品の保存、真冬の暖房対策であるため、その対策としてポータブル電源では不十分と考えています。

停電対策としての高額なポータブル電源の購入助成の必要性については疑問があります。

(中森総務・住民福祉担当参事)

読みやすい広報紙を作るため、2名の議員が研修会に参加！

9月26日、「令和5年度町村議会広報研修会」が東京都大手町にある日経ホールで開催され、広報委員の山口議員・数本議員の2名が参加しました。

この研修会は、議員活動に対する住民の関心と理解を深めるため広報編集委員等を対象に研修の場を設け、議会広報の発展に資することを目的として開催されています。

今回の研修では、プライバシーや著作権等の法律知識、住民に読んでもらえる見出しの作り方、伝わるデザインの作り方など、広報の制作においてとても参考となる研修会でした。

今回の議会だよりには、研修の成果がでているでしょうか。



一般質問

おくところ温泉はどうなる？ あの話は結局どうなった？

藪本 英明



【質問】おくところ温泉の運営について、山永サービスの指定管理の契約期間も残り半年程になりましたが、来年4月からの指定管理についてはどのようなになっているか。

【答弁】おくところ温泉の運営を山永サービスに指定管理委託し、もうすぐ3年になり今年度が最終年度になります。その間、住民サービスの維持向上や人材確保、経費節減など民間事業者の経営能力を活かして地域振興の拠点として経営をしていただいています。

コロナ禍の影響、老朽化した施設の改修などがあり、苦しい経営が続いていますが、山永サービス側からは、道半ばで運営を放り出すことはしないという前向きな返事を頂いており、来期も引き続き

運営して頂けると思っています。来期の運営に向けて、人手不足の解消と営業の効率化を図るためレストラン券売機の導入や人材確保のため外国人技能実習生制度を活用し外国人労働者2名を村に滞在させる準備をしています。
(尾中地域事業担当参事)

【質問】令和元年12月から令和5年6月定例会までの一般質問で検討する又は今後考ええるとの回答に対して、その後どうなっているか。

- ①なんでもやる課の創設
- ②長計評価を行う体制
- ③ご当地ナンバーについて
- ④七色、竹原堰堤撤去後
- ⑤四の川等の清流を守るための条例の制定。

【答弁】①将来「なんでもやる課」を創設するなら再雇用職員で組織される経験豊富なベテラン職員のポストとして、チームを作ることにも一つの方策です。職員のやる気にかかっており、北山村の将来を担う職員として、村民に愛され、信頼される人材を育てていきたいと考えています。(山口村長)

②計画を形骸化させないように、外部の方から評価、検証して頂く手法やできる体制を作っていくたいと考えています。

(尾中地域事業担当参事)
③昨年、国土交通省から地方版図柄入りナンバーの意向調査が出ていましたが、管内市町村から県に対する意向表明はありませんでした。次回の申し込みは数年後になりますので、地域の盛り上がりがない以上、行政としても動きが鈍くなります。今後動きがありましたら、情報提供をいたします。

(尾中地域事業担当参事)
④七色竹原堰堤の撤去は、河川環境の保全と親水公園を目的として、起債申請に向けて和歌山県と協議を進めており、部分撤去やスリット化も視野に検討を行っています。ただ、財源確保の問題や、堰堤上流の水位低下の懸念があり慎重に判断し検討します。

自然プールの設置については七色渡キャンプ場やおくところ公園との差別化した遊泳スポットとして観光振興を図りたいと考えております。(尾中地域事業担当参事)

⑤四の川等の豊かな自然環境の保全と周囲の安全で快適な生活環境の確保を推進するという基本方針のもと、仮称ではございますが、北山村四の川等の河川環境を保全する条例という理念条例の素案が

でき上がっておりますので、また委員会等で説明させていただきたいと思えます。また、条例の制定だけではなく、これを契機に清掃活動や川に関する水質保全の運動などの取り組みを考えております。
(尾中地域事業担当参事)

スポーツツーリズムによる地域活性化についての研修会に参加

10月4日、那智勝浦町ホテル浦島で東牟婁郡町村議会全議員研修会が開催されました。

研修会では大阪体育大学学長の原田宗彦氏が講師を務め、「スポーツツーリズムによる地域活性化」と題して講演を行いました。

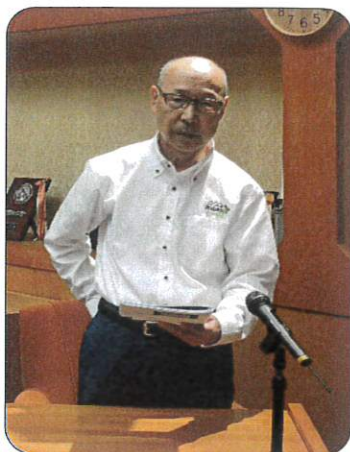
この地域は自然豊かでアウトドアなど体験型観光に適している。スポーツと観光を合わせアクティビティを造成することであらゆる場所に価値を生み、観光資源とすることができると、先進地の事例を紹介して説明して頂きました。



一般質問

公民館活動で楽しもう！ 台風でプールができなくて残念

前岡 武津雄



で、地域の皆さんで交流できる競技として「ボッチャ」を4月に開催しました。

今年度は5月にラフティング体験、7月には筏下り体験、8月には絵本の読み聞かせ、サマーボランティア体験、アマゴのつかみ取りを行いました。

今後は福祉ボランティア体験、森林・林業学習、ふれあい収穫祭、じゃばらの収穫体験を予定しています。

【質問】①コミュニティスクールの主体的な取組で、児童にアンケートをとり、その結果は。
②北山村の歴史でふるさと教育として取り上げて頂きたいのは、北山一揆と骨置神社。その後、どうなっているのか。
③音楽の好きな村民による歌うサークルを公民館活動で実施してはどうか。

【答弁】アンケートは「やってみたいスポーツは何か」と聞いたところ、ドッチボール、サッカーなどの団体競技から、バトミントンやカーリングといった個人競技まで様々ありました。その結果を基に、まず1回目として、子どもからお年寄りま

【答弁】アンケートは「やってみたいスポーツは何か」と聞いたところ、ドッチボール、サッカーなどの団体競技から、バトミントンやカーリングといった個人競技まで様々ありました。その結果を基に、まず1回目として、子どもからお年寄りま

「北山弁辞書」「北山弁かるた」を作成し、イベントを行う予定です。
ご提案いただいた音楽好きな村民による歌うサークルをはじめ、共通の興味や趣味を持つ者のサークル活動については、その立ち上げや講師の派遣など、自主的な継続した活動ができるように支援していきます。
(泉教育長)

【議員からの提案】この村には音楽や歌うことが好きな人が多いと思う。音楽を楽しみむサークルの後押しをお願いします。



公民館活動で作った己書とウッドバーニング

【質問】4年ぶりに下尾井プールを開いたが、8月7日以降は大雨、台風による濁水等により利用できなかった。
公民館だよりにのっていたが、天気が続いた時があったが、なぜできなかったのか。

【答弁】今年度は4年ぶりに7月22日から8月27日までの予定で下尾井プールを開き、皆さんに喜んでいただきました。

7月22日から8月6日まででは天気もよく、16日間で総計227人の利用がありました。その後は大雨や台風7号による濁水や取水口の詰まりにより8月7日以降は閉めざるを得ませんでした。

(泉教育長)



北山弁を後世に残していく取組が行われ、お正月には、北山弁のかるた大会が予定されています。

議会の防災の知恵袋 No. 14

北山三村の議員で池原ダムの視察を行いました

令和3年3月に池原ダムの水利権が更新されました。また、令和5年3月に七色ダム、小森ダムの水利権の更新期限となっており、現在、協議を行っています。

そのような中で、建設から約60年が経過するダムについて、9月28日、上北山村、下北山村、北山村の三村の議員で池原ダムの視察を行いました。

池原発電所内の会議室やダムの取水口付近で、電源開発(株)の方からダムの安全性、洪水対策、濁水対策について説明していただきました。

電源開発の説明では、ダムのコンクリートの強度については、レベル2といわれる南海トラフ地震などで想定される大地震でも大丈夫なように設計され、テストを行っています。その強度は普通のコンクリートとは違い、今のところは強度が増しているとの説明がありました。

今年8月15日に紀伊半島に上陸した台風7号の際には、ダムへの流入量は過去4番目に多く、また、平成23年の台風12号よりも多かったにもかかわらず、事前放流により池原ダムの水位を大幅に下げることにより、ダムに十分に貯水可能な空き領域を確保していたため、ダムの放水量を抑えることができたとの説明がありました。今後も台風や線状降水帯などの長時間の大雨の際には、事前放流により被害を最小限に抑えられると期待しています。

表面取水設備について説明があり、濁水は、洪水時に池原ダム湖に流れ込むと中層を漂うことになりませんが、表面取水設備を導入することで、表層のきれいな水を取水して流すことができるので、長期の濁水化を軽減できるということです。



ダム放流について説明を受ける



表面取水施設を視察

令和5年第2回 臨時議会が開催されました。

11月1日、令和5年第2回臨時議会が開催され、「議案第45号 令和5年度北山村一般会計補正予算(第5号)」が上程されました。歳出予算の主なものとして、竹原区民会館・村営住宅解体工事13,409千円、財政調整基金積立金59,476千円、歳入予算の主なものとして、竹原区民会館・村営住宅の移転補償金72,885千円が計上されました。審議の結果、この議案は全会一致で可決されました。

竹原区民会館が取り壊されると新しい区民会館が建設されるまでは、竹原区に区民会館がない状態となりますので、東光寺を区民会館の代わりとして、いきいきサロンや台風等の避難所、選挙の際の投票所などに使用するそうです。

議会 日誌

8月(葉月・はつき)

- 4日 和歌山県町村議会議長会 全議員研修会 (かつらぎ町)
- 18日 南清園議会(太地町)
- 22日 和歌山県町村議会議長会 県知事要望 (和歌山市)
- 23日 新宮市議会特別委員会傍聴 (新宮市)
- 30日 総務建設常任委員会 (村民会館会議室)

9月(長月・ながつき)

- 2日 和歌山県知事・県土整備部訪問 (和歌山市)
- 14日 議会運営委員会 全員協議会 (村民会館会議室)
- 20日 9月定例会(役場)
- 26日 広報研修(東京都)
- 28日 池原ダム視察(下北山村)
- 北山三村議員交流会(上北山村)

10月(神無月・かんなづき)

- 4日 東牟婁郡町村議会 全議員研修会 (那智勝浦町)
- 11日 南紀熊野ジオパーク東牟婁議員連盟 協議会 研修会(古座川町)
- 13日 総務建設常任委員会(村民会館会議室)
- 20日 電源開発(株) 西日本支店訪問(大阪市)
- 24日 県議長会正副委員長研修会(和歌山市)
- 25日 新宮周辺広域議会 月例監査(新宮市)

11月~12月

- 11月1日 第2回臨時議会(役場)
- 村議会議員選挙候補者説明会(村民会館)
- 4日 じゃばら加工場落成式(七色渡)
- 28日 村議会議員選挙告示日
- 29日 期日前投票(村民会館)
- 12月3日 村議会議員選挙投票日
- 20日 村議会議員任期満了

四季折々の村の風景

今年はいよいよ果実がたわわに実っているのじゃばらの写真にしようと思いましたが、竹原の二宮金次郎の横でスキが青空に映えてきれいでしたので写真に収めました。

議会広報委員

山口 廣一郎

藪本 英明



竹原の二宮金次郎とスキ

議員のひょうたん

《もの忘れがひどくなった時の言い訳》

私事、昨日食べたものや薬飲んだか?そして、人の名前が出てこないことが多々ある。だが、ある本の一節を読んで案ずることなかれと安心した。年と共に忍び寄るものは忘れるのではなく、だれしも人間として生まれて育ち、働き、休む。そして、やがて老いていく。その成長過程で身につけた体力、知識、記憶を年と共に世間にちよつとづつ返していくのだという。

旅をしていたものは、いつかは元の所に帰り、登山で頂上をきわめた人は必ず下山してこそ登山という行為が完結するらしい。

旅や登山から帰「還」ってくるように、年をとり子供に還ってくるのは人間のごく自然な姿だとも・・・。

何となく分かったような、分からんような・・・。しかし妙に安心と感心する次第です。心あたりのある人、この言い訳を参考にしてみませんか?

《いづこも思ひこい》

世界で起きている目を覆うばかりの悲惨な出来事、そして、頻発(ひんぱつ)する自然災害。

世界がある意味狭くなっている今、いつ日本に火の粉が飛んでくるかわかりません。

私たちは対岸の火事とせず、戦争と自然災害(地震・異常気象)の恐ろしさに目を向け、身近な事としてとらえなければと思えます。

寒暖差が激しい時節、皆様体調に十分気を付けてお過ごしください。

北山村議会議員 山口廣一郎